

平成30年度 生産性・品質向上のためのIT活用の現状と
ものづくりマイスターの活用に係わる好事例発表及び意見交換について

1. 日時 平成30年10月5日(金) 15:00~16:30
2. 会場 男女共同参画センター「あざれあ」502会議室
3. 参加者 20名



4. 好事例紹介

テーマ1 「ものづくりマイスターを活用した技能伝承と教育訓練体制の確立」

発表者 小泉 泰弘 エイケン工業株式会社 製造第一部次長
櫻井 英司 エイケン工業株式会社 総務部取締役部長



このものづくりマイスター派遣をトリガーにして、社内の技能レベルの向上を目指すだけでなく、中堅社員の社内教育者及び若手の教育を受ける者、両者の意識改革を図っていくことを促したい。技能向上による資格取得に見合う人事評価も検討する必要があると考えている。トレーナの位置づけや評価も重要である。これらの人事評価もモチベーション向上の重要な手段となる。また、提案制度や職場の相互監査などを利用しての問題点の発見とその対策構築は、ムダ取りや効率化にとどまらず、若手の当事者意識醸成にもつながると考えている。また、最終目標としては、ものづくりマイスターの力を借りずに社内で教育体制を作ることです。

テーマ2 「安全で快適な介護現場を目指す弊社の職場環境改善事例」

発表者 水野 裕士 アサヒサンクリーン株式会社 総務部教育課係長



メイン事業は、介護者を対象とした訪問入浴。快適な介護現場を目指すべく、入浴車改良、荷物の積み下ろしの廃止、浴槽の軽量化、移動介助機器・マッスルスーツの導入をしてきた。また、帰社後の事務処理作業を効率良く行うために、電子カルテシステムの導入。現場で事務処理作業が可能になり大幅な残業時間の短縮に繋がった。

テーマ3 「IoT を活用した生産現場見える化の取り組み」

発表者 渡邊 浩昭 ジヤトコ株式会社 JEPS 推進部 JEPS 推進課 課長



データの誤入力解消、蓄積した設備データ活用法、設備内のビデオ撮影等、ITの活用方法は、身近なエクセルや安価な市販品を活用する事でも充分生産性向上の成果が得られる。今までの習慣や慣例に捕らわれない発想が有効。

【その他】

- ・ITの活用においては問題を整理し、優先順位をつけておく。
- ・他社の事例を知る事や展示会、講習会にも積極的に参加し、知識・技術を蓄積しておく。
- ・若手の育成には、上司や先輩が現物を一緒に見て、一緒に考える事が大事。
- ・若手の提案や意見をすぐに否定しない社風を作っていくことが、人材育成と会社の活性化に繋がる。

5. アンケート結果 内容報告

聴講者 20 名 アンケート回収 16 部 (当日回収 回収率 80%)

主なアンケート集計結果とご意見

- 1) 好事例発表の内容はいかがでしたか
 - ① 大変満足 6/16(38%)
 - ② 満足 10/16(62%)
 - ③ やや不満 0/16
 - ④ 不満 0/16
- 2) 意見交換会はいかがでしたか
 - ① 大変満足 2/16(13%)
 - ② 満足 13/16(81%)

- ③ やや不満 0/16
- ④ 不満 0/16
- ⑤ 無記入 1/16(6%)

3) 技能伝承の参考になりましたか

- ① 大変参考になった 3/16(19%)
- ② 参考になった 12/16(75%)
- ③ 参考にならなかった 1/16(6%)
- ④ 全く参考にならなかった 0/16

4) 生産性の向上と IT 活用の参考になりましたか

- ① 大変参考になった 4/16(25%)
- ② 参考になった 12/16(75%)
- ③ 参考にならなかった 0/16
- ④ 全く参考にならなかった 0/16

5) その他ご意見

- ・発表は取り組みが非常に分かりやすく、参考になりました。
- ・現場主義、外を見る眼の必要性など良く理解できました。
- ・若手社員に対しての教育の苦勞や工夫している点などを聞いて、参考になりました。
- ・人手不足対策として積極的に離職者の意見を聞き、それを取り入れる事や社内他部門の相互監査を実施するなどが大変参考になりました。